ただいま建築中……神明に市営住宅

ことし神明宮西つぎのとおり。

26年度　宮東団地　一六戸（一戸が建てられている一般住宅一〇戸、引揚者住宅六戸）
27年度　野添団地　一五戸（一種木造）
28年度　福角団地　二五戸（簡易耐火二階建一〇戸、一種木造一〇戸、災害住宅五戸）
33年度　小倉団地　一〇戸（一種木造）
34年度　小倉団地　一〇戸（一種木造）
35年度　目川団地　二〇戸（一種木造）
36年度　神明団地　二〇戸（一種木造）
37年度　神明団地　二〇戸（一種木造）

（神明浄水場からのびる本管の布設工事）

三五に市営住宅二十戸が建てられている城南住宅地帯につづく日当のよい神明神社の南側の台地で、昨年建てられた市営住宅（二十戸）と棟をつらねて、市営住宅団地が生まれることになる。

敷地は約二千六百四十坪メートル、建物は木造平屋建スレートぶき一棟二戸建十棟で、一戸三十一平方メートル、四・五、六畳各一のほか、玄関、炊事場、便所がついている。

この建設には九百六十六万八千円かかるが、国庫補助金四百八十四万二千円、起債百五十万円、一般財源三百三十二万六千円でまかなわれる。完成は四月末の予定。低家賃住宅として市がいままでに建てた市営住宅は、

故人の遺志をたたえ「浅田あい奨学資金」

市内五ケ庄福角に住まいの浅田一次さん夫人あいさんは、新春四日「奨学資金として下さい。」と、宇治市に一百万円を寄附された。同夫人は、それまで病気で静養されていたが、一月四日不幸にもご逝去になった。

市では一月二十日市会館で宇治市奨学資金評議委員会（委員長江口四郎一氏）を開いて審議した結果、尊い遺志にむくいるため、現在市が実施している「宇治市奨学資金制度」とは別に故人の名をとって「浅田あい奨学資金制度」をつくり、この百万円を基金として運営することを市長に答申した。

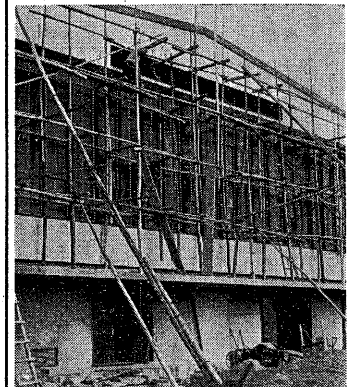
この制度は、基金百万円から生ずる利息で高校生を対象に貸与されるもので、三人の奨学生が生まれる予定。故人の遺志は「浅田あい奨学資金」として、ともしえに顕彰されるものであろう。

応募は一六五通　鐘の名称募集

新庁舎屋上に取りつける「平和と愛の鐘（仮称）」のなまえを募集していたところ、市民から百六十五通の応募があった。協議会では、一月二十七日に審査、正式に名称を決定し、当選者を新庁舎竣功式当日に表彰する準備をすすめている。（宇治市平和都市推進協議会）

完成急ぐ体育館　宇治中西

昨年11月に着工した西宇治中学校屋内体育館は異状な寒さで、工事も若干おくれていたが、外観はほとんど出来上り、いま内装工事にピッチを上げている。これで、ことし3月の卒業式までには使える見込み。



ほとんど外観が仕上つた西宇治中体育館

西町に水道延長　将来は宇治と連結

（神明浄水場からのびる本管の布設工事）

市内宇治西町一帯の民家は、もともと水に恵まれず、宇治町時代に、日本レイヨン会社が同地内の社宅に給水する水道の一部をうけて、日常の飲料用水としてきたが最近同会社の給水事情から一般民家への給水が困難となったので、市が神明浄水場から配水管を延長給水することになった。

この工事は、神明浄水場から府道宇治淀線まで二〇〇ミリメートルの本管四六七メートルを布設しさらに宝池町～坂井戸町間に七五～四〇ミリメートル管を布設した。工事費は二九三万円、二月末完成の予定で、約二〇〇世帯に給水される。

この配水本管は、府営天ケ瀬上水道が完成したときに、宇治浄水場側の本管と接続されることになる。

固定資産課税台帳の縦覧　〈三月一日から三月三十一日まで〉

昭和三十八年度固定資産課税台帳（土地・家屋及び償却資産）の縦覧をつぎのとおり行ないます。

①縦覧期間
三月一日から三月二十日まで、毎日午前九時から午後四時まで

②縦覧場所
宇治市役所税務課固定資産係

なお、土地、家屋については、三十八年度は三十七年度の価格が据え置きになっていますから、三十七年度に登録された価格は変わりません。

しかし、三十七年中に新しく建築、増改築等された家や土地の地目変換等で三十七年度と状況の変わった固定資産については、新しい価格が登録されています。償却資産は申告制度になっていますが、本年も新しい価格が登録されます。

登録価格の審査申出は

三十八年度は平年度ですから価格は据え置きになっており、昨年度と価格が変わらない固定資産については審査申出はできません。

新しく価格の登録された固定資産についてのみ、その価格に異議のある方は、固定資産評価審査委員会に申出ることができます。

審査の申出をされる方は、必ず三月三十日までに行なって下さい。（税務課）

愛の募金

ことしも、新春早々、次の方がたから、当協議会へ心のこもった寄附金が寄せられています。

▽一月五日　「平和の鳩」から百円（第十七回目）
▽一月八日　匿名で千円（各南タイムス社経由）
▽一月九日　大久保哲年会（会長音峰幸吉さん）から鉛筆十二打（「施設のこどもへ」と指定）
▽一月十四日　日本レイヨン宇治工場警備員（代表三田村文吉さん）のみなさんから千四百九十五円（宇治警察署経由）
▽一月二十六日　宇治里尻木本兼雄さんの母堂故りえさんから衣類十五点（「養老施設のおとしより へ」と指定）
▽一月三十一日　「平和の鳩」から百円（第十八回目）

これらの寄附金は、福祉金庫へ入金し、市内の恵まれない人々のために役立たせていただきます。また、指定された寄品は、ちかく施設の療養なん びとに贈らせていただきます。どうも、ありがとうございました。（宇治市社会福祉協議会）

毎月10日は交通安全日

・こどもの交通事故をなくしましょう
・正しい歩行、横断を励行しましょう
・正しい運転を励行しましょう

宇治市交通安全対策協議会

〃春の火災予防運動〃

春の火災予防運動が、二月二十八日から三月十三日まで、全国でくりひろげられます。

冬から春にかけては、空気が乾燥し、家庭でも、職場でも、一番火をよく使うので、火の始末には十分注意しなければなりません。

子供に火遊びをさせないこと、家庭や職場の火のもと、器具、設備などをよく調べ、火を出さないようにいたしましょう。

宇治市消防本部では、期間中、「火の用心」のよびかけ、防火対象物の特別立入検査、一般家庭の防火診断、防火映画会、懇談会、放水訓練、電車・バスの点検、乗客の危険物持込み検査などを行ないますから、ご協力下さい。（宇治市消防本部）

すくすく育つ子供たち　盛況のかるた大会

一月十五日、黄檗山緑樹院道場で、第七回全市子供かるた大会が行なわれた。宇治市少年補導研究協議会（会長福山武男氏）が主催小・中学生約百十五名が参加三十余名の補導員の世話で、市長杯争奪戦を展開、かわいい子供たちが、バラ取り、源平戦などに、ほほを紅潮させ、大人も顔負けする阜業を戦い合った。

新庄市長もお祝いに参上、子供たちに、「これは日本古来から伝わる優雅な遊びです。みなさんはかるた遊びを通じて、教養を高め精神をみがいて、すくすくと美しく立派な人になって下さい。」と激励の言葉をおくった。

38年度 市・府民税 個人の事業税 の申告は……3月20日まで

○申告をしなかったり記入もれがあったときは、事業専従者としての取扱いや、扶養控除などの所得控除、障害者控除などの税額控除がうけられません。
○一般申告書その他の申告書が必要なときは、税務課市民税係にご連絡下さい。
○期間中、土曜日午後、日曜日も受付けします。

—税務課—

宇治市国民健康保険

被保険者証の切換は～3月31日まで

切り換えのすんでいない方は、旧被保険者証とハンコを持って、市役所保険年金課へおこし下さい。
旧被保険者証は、4月1日から使用できません。

—保険年金課—

宇治市政だより

住民登録人口（37年12月31日現在）

世帯数	13.881世帯
人口	54.541人
男	28.138人
女	26.403人

12月市人口の動き
出生82人　死亡38人
結婚100組　離婚3組

市域の面積
67.29平方キロメートル

びわこ国定公園区域変更

昨年一月九日厚生省から、琵琶湖国定公園の区域ならびに公園計画が決定した旨、告示された。

これによると、宇治橋から上流両岸の風致地区の中に、特別指定地区がつくられ、自然公園法が適用されて、すぐれた自然の風景を保護し、国民の保健、休養、教化に寄与することになる。

これに関する地図及び自然公園法同施行令、同施行規則など図書類は、商工観光課に備えつけているので、関係者は縦覧におこし下さい。（商工観光課）

市民から注文いろいろ

市長に手紙を出す旬間の結果

行政は生きものです。そして、わたくしたちの生活と、しっかり結びついています。市長に手紙が寄せられるのも、わたくしたちの生活と切りはなせられない問題があるからです。議会制度、請願、陳情といろいろのしくみはあつても、それはそれ、これはこれで、「市長に手紙を出す旬間」が、市民と市との話し合いの場として、相互の信頼と理解を深まらしめることでありましよう。

◇去る十一月十八日から同月二十七日まで「市長に手紙を出す旬間」に、市民から十一通の手紙が寄せられました。

手紙の内容は、道路や排水路の整備をしてほしいというもの五を筆頭に、教育費の父兄負担を軽くせよ、特殊学級を増加せよなど教育関係、老人福祉の向上、市民サービスの改善、火災防止、街灯増設、ゴミ集めの迅速、その他いろいろ陳情書報告のほか、水道を新設せよ、市の業務改善を促進せよなど、市の行政に対する建設的な意見や希望ばかりで、投書された人の年令も十六才から六十四才に及んでいます。

これらの手紙は、紙面の都合で残念ながら、全文をのせられませんが、つぎに、手紙の要旨と市の回答を掲載しました。

防火指導を望む・ゴミは週一回に

武永静江さん（広野町西裏八・主婦）

①私共は京都市北区から転入して一年になります。広野町一丁目附近には消火栓が見当らず本当に不安です。消火設備を完備して下さい。そして見学、全家庭の立入検査と、隣組単位の防火懇談会を開いて下さい。立入検査をしてもらうと、自分では気がつかないところも指示していただけて結構です。家庭用の消火器の購入もあっせんして下さい。②最近ゴミ集めに乙女のいのりのメロディーを流されるのは結構ですが、ゴミ集めの方が早くて十日位、おそくて二週間もかかるようでは、各家庭のゴミはあふれて、道路をよごし、みぞに落ちたり、街がゴミだらけになります。一週間に一度は来ていただけないでしょうか。

回答　①一般家庭の立入検査は、職員数の関係で全家庭を廻ることは困難です。現在は年二、三回程度、密集地域を重点に逐次廻回をふろうけて行なっています。防火相談のご希望があれば、いつでも消防署へお申出下さい。防火懇談会もご希望に応じて町内会や隣組単位で開き、消防職員が出席しております。今後もご希望があれば喜んで開かせていただきます。広野町一丁目附近は現在消火栓が三ヶ所あり、消防用水利は比較的よい地域です。②ゴミ集めは、週一回の計画を作成中で、四月の新年度から実施したいと考えています。

上水道がほしい

松山宗雄さん（伊勢田町中山五二）

回答　伊勢田地区へは、天ケ瀬ダム水道が完成する昭和四十年までには配水本管を布設する計画です。なお、しばらくお待ち下さい。

踏切に警報器を

長沢綾一さん（神明・石塚町六）

①奈良電伊勢田駅から開石塚町へ行く道には、奈良街道と国鉄奈良線の二つの危険な交差があります。ここには警報器も何もありません。危なくて子供、人では通れません。②国鉄に交渉して自動警報器をつけてもらいたいと思います。

回答　①国鉄には昨年八月文書でお願いしています。また十二月十四日には奈良保線区長も現地を調査され警報器設置を計画して、いただいています。

特殊学級をふやせ・信号を守ろうなど

西村均さん（宇治妙楽一四六）

①「平和と愛の鐘」募金は、二月末までに五十万円集められるかもし達成できなければどうするか②特殊学級については、「市政だより」で取りあげられたように大切な問題だ。もっと特殊学級をふやす考えはないか。③当地で府道の舗装が行なわれているが、市道（主要なのそく）もやるつもりはないか。④市民課は市民の利用度が高いにもかかわらず、一本心が入っていないようだ。もっとサービス精神を植えつけさせたらどうか。⑤宇治橋西詰の信号灯無視が多い。これは信号の意味がない巡査派出所があるのに、なぜ巡査を立てて統制させないのか。⑥京阪電車を利用して大阪方面への通勤通学者がふえているのに、直通電車がふえないのは、市民の足をとめるにも等しい。京阪電車に交渉してほしい。

回答　①「平和と愛の鐘」の募金は、幸い市民の二協力で一月四日目標額を突破し、現在五十六万五千円になりましたので立派な鐘が設置できることになりました。②宇治市の特殊学級は現在の施設で、また小学校で二十八人、中学校で二人収容できる余裕があります。なお、四月から西宇治中学校にも特殊学級を新設する予定です。③あなたが申されている市道はどこか分かりませんが、主な市道は計画的に舗装する予定であり、せまいところも順次施行したいと考えています。④窓口は日や時刻によって非常に波があり、混雑した時に行かれた方には長くお待たせすることもあります。日頃サービスに欠けないよう努めていますが限られた職員で手の廻りかねるときもありますのでご諒承下さい。⑤宇治橋西詰の交通については、お説のとおりで、警察署にもご趣旨を連絡しました。また、交通安全対策協議会でも十分討議したい思います。しかし、こんなことも、自動車は信号を守っているが、自転車や歩行者に信号無視が多いので、取り締られる前に、もっと自分の生命を大切にすべきでしょうね。⑥大阪行直通電車の運行については機会があるたびに京阪に交渉していますが、まだ実現をみないのは残念です。今後も交渉を続けます。

明るい町に・市の発展は道路から

重本親男さん（木幡・赤塚三四・32・国家公務員）

①宇治市に住んで一年半、前住地の都市と比較して宇治市の暗さにはおどろきます。街灯の増設の一事で犯罪も確実に減少することでしょう。三十八年度は、宇治市を明るい都市にする運動を強く進めて下さい。②愚道路は二人宇治市のみの問題ではありませんが、かといって当然とばかり放置されて迷惑をうけるのは市民です。どんな都市計画があるのか、屈曲した道路改善なくして市の発展はあり得ないと考えます。宇治市発展の基礎づくりにご協力下さい。③「市長に手紙を出す旬間」期間中、民主的平民市長という字句がありましたが、職員ないさ知らず、新憲法下ではすべての人は平等です。不自然にうけとれます。

回答　①市をあつて明るい街にしたいものです。当市では徐々にではありますが、本年度は市役所へ行ってみて」と、断られています。折角つけた街灯もいたずらでこわされるのは困ったことです。みなさんのご協力をお願いします。②道路の整備はかなり重点的に行なっています。ご指摘の屈曲したどこかはっきり分かれますが、都市計画事業の決定路線は公示しておりますが、それ以外は逐次改良して行きたいと考えます。③おっしゃるとおり、わたくしたちは、法のもとでは平等です。わたくしも、一個の庶民です。みなさんと同じ立場に立っています。そして、その立場で、市政を担当しています。しかし、世の中には、まだまだ権力や金力で支配しようとする殿様族がありますが、それに対することはとしての「平民市長」という意味です。ご諒承下さい。

排水不備に悩む

H・Fさん（宇治矢落七三・16・学生）

私の住んでいる矢落は、少し大きな雨が降ると、すぐ床下に浸水する恐れがあって、事実、度も浸水しました。学校にいても雨の強い日は、家のことが気になって勉強にも身が入りません。先般床下浸水の折、市長さんも見られて存知のことと思いますが、排水の不備にあるようです。町内の署名を願も出ています。早急に善処して下さい。

回答　少しでも迷惑をへらすため、本年工費三千万円の一部の側溝を排水管を改修しましたが、鉄道敷より下流から施工しない完全にならないので、なるべく早く改修したいと考えています。

吏員に事務服を・応待は親切に

長田代治さん（五ケ庄植東一・61・無職）

①市役所の中では吏員と市民の見わけがつきません。吏員が一定の事務服（上衣）を着用して執務したら、外観もよく事務にも便利だと思うのです。②十二月六日ごろ、東宇治出張所へ国民年金の保険料を納めに行ったところ、「今日は係が休みなのでお待ちください」と、断られました。簡単な事務は、たとえ係の人がいなくても、かわって取り扱いのできるよう他の吏員を訓練しておくなど、温い取り扱いができないものでしょうか。

回答　①職員には作業服を貸与していても地区識別し易いことだけでなく、執務能率の向上にも効果があるので、検討したいします。②係以外の者が不慣れのために迷惑をかけたようですが、今後はご意見のように注意してお取扱いしたいと思います。③職員の提案制をご参考能率を促進し、提案に対しては表彰を考慮し、吏員のサービス精神の向上を軽くし、学校施設を充実し、教科書を全部一律に同じ題材にすること。⑥教育行政については小・中学校の父兄負担を軽くし、学校施設を充実し、教科書を全部一律に同じ題材にすること。⑥民警懇談会には市の職員も出席させること。⑦市長さんに出す手紙はいつでも受付ることなど、を特にお願いします。

回答　①現在児童公園二万所児童遊園二千四カ所で、児童遊園は今後も用地は地元、遊具は市負担でつくってゆきたい。現在は開発業者に土砂が流れないよう石垣をつむとか、柵をつくるなど防止工法を講ってもらっています。

バケツリレーで排水とは

困っている店主（宇治妙楽五三・64・商業）

大雨時、京都銀行前のミゾがあふれて宇治橋通りへ流れます。そのたびバケツリレーで近所の方までご迷惑をかけます。何とか出来ないでしょうか。

回答　これは府道平等院線、宇治瀬田線、宇治宮線を横断している暗渠の断面が小さいため、ご迷惑をかけます。何とか出来ないでしょうか。

迷惑な土砂の流入

木下重吉さん（小倉用水利用組合代表者）

折居川上流が開発され、このため土砂が伝染病舎下流の用水路に流れ込み困っています。市として何とかお考え願いたい。

回答　折居川の土砂の流下防止については、今年度、国鉄奈良線から病院前までを災害関連事業として改修できることになり、国の予算が決定次第、着工する予定です。なお、上流については開発業者に土砂が流れないよう石垣をつむとか、柵をつくるなど防止工法を講ってもらっています。

市政だよりを早く

田和周吉さん（五ケ庄梅林）

市政だより十二月号が届いたのが十二月二十八日でした。これでは投書しようにもできません。

回答　十二月号は十二月十九日に町内会へ配達いたしましたが、年末で配達が遅れたのではないかと思います。しかし、市政だよりも遅れがちでこのいわくがついておりますが、今後はできるだけ遅れないよう努力したいと思います。

図書館をつくれ・老人福祉に力を など

猪尾昇さん（五ケ庄折坂五）

①青少年の非行防止のため、各地区に児童公園、宇治、東宇治、大保の三地区に市民体育グラウンド、中心地に市民図書館を設立してほしい。②老年者（七十才以上）には市負担で年何回か理髪やあんまの無料サービス、老人の日乗車、映画館などに無料入場、市内の指定病院での無料健康診断をするなど温い手をさしのべること③交通道路対策としては、市幹線道路を一方通行にし、歩行者を交通事故から守ること、道路の悪い個所を復旧、側溝を整備してほしい。④市業務の改善については、市吏員の提案制をご参考能率を促進し、提案に対しては表彰を考慮し、吏員のサービス精神の向上を軽くし、学校施設を充実し、教科書を全部一律に同じ題材にすること。⑥教育行政については小・中学校の父兄負担を軽くし、学校施設を充実し、教科書を全部一律に同じ題材にすること。⑥民警懇談会には市の職員も出席させること。⑦市長さんに出す手紙はいつでも受付ることなど、を特にお願いします。

回答　①現在児童公園二万所児童遊園二千四カ所で、児童遊園は今後も用地は地元、遊具は市負担でつくってゆきたい。現在は開発業者に土砂が流れないよう石垣をつむとか、柵をつくるなど防止工法を講ってもらっています。②老人の福祉については、七十才以上の老人でつくられた憲老会に市が補助金を出したりお世話をしています。また七十七才以上の老人には年十二百円の敬老年金を差上げています。将来要給年令の引下げや増額を検討します。老人の健康診断に医療器具の準備や専門医師の協力方について目下保健所と打合せで、近く実施できる運びとなる予定です。③歩行者とくに学童の交通を守ることは非常に大切なことで主として学童が通行する道路を指定して行なう方法も考えられるので検討します。砂利道については現在八名の職員と トラック一台で修理に力を入れていますが舗装道についても三十八年度から巡回修理班を編成して修理に努力したいと考えています。側溝の整備はまだまだおくれていますが重要個所から改良に努めています。④昭和二十四年から職員で事務改善委員会をつくり提案制を取りれ窓口事務や文書事務を一本化し、機械を導入して改善に努めてきましたが新庁舎完成後、さらに力を入れて、みなさんのご期待に応えたいと思っています。⑤教育費の父兄負担は、たとえば学校建築の場合は国の補助以外は全額市が負担し、その他の面でもできるだけ父兄の負担を軽くするようにしています。教科書は文部省検定ものの中から教育委員会が採択して市内の小・中学校は同種類のものを使っています。⑥民警懇談会には、市に関係のことも多いですので、広報課員を出席させています。⑦市長に出す手紙はいつでも受け付けています。今後もみなさんの投書を歓迎いたします。

図書館をつくれ・老人福祉に力を など

猪尾昇さん（五ケ庄折坂五）

①青少年の非行防止のため、各地区に児童公園、宇治、東宇治、大保の三地区に市民体育グラウンド、中心地に市民図書館を設立してほしい。②老年者（七十才以上）には市負担で年何回か理髪やあんまの無料サービス、老人の日乗車、映画館などに無料入場、市内の指定病院での無料健康診断をするなど温い手をさしのべること③交通道路対策としては、市幹線道路を一方通行にし、歩行者を交通事故から守ること、道路の悪い個所を復旧、側溝を整備してほしい。④市業務の改善については、市吏員の提案制をご参考能率を促進し、提案に対しては表彰を考慮し、吏員のサービス精神の向上を軽くし、学校施設を充実し、教科書を全部一律に同じ題材にすること。⑥教育行政については小・中学校の父兄負担を軽くし、学校施設を充実し、教科書を全部一律に同じ題材にすること。⑥民警懇談会には市の職員も出席させること。⑦市長さんに出す手紙はいつでも受付ることなど、を特にお願いします。

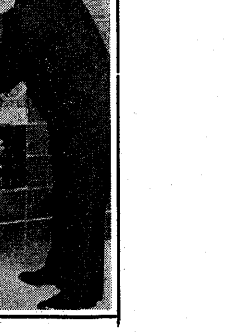
回答　①現在児童公園二万所児童遊園二千四カ所で、児童遊園は今後も用地は地元、遊具は市負担でつくってゆきたい。現在は開発業者に土砂が流れないよう石垣をつむとか、柵をつくるなど防止工法を講ってもらっています。②老人の福祉については、七十才以上の老人でつくられた憲老会に市が補助金を出したりお世話をしています。また七十七才以上の老人には年十二百円の敬老年金を差上げています。将来要給年令の引下げや増額を検討します。老人の健康診断に医療器具の準備や専門医師の協力方について目下保健所と打合せで、近く実施できる運びとなる予定です。③歩行者とくに学童の交通を守ることは非常に大切なことで主として学童が通行する道路を指定して行なう方法も考えられるので検討します。砂利道については現在八名の職員と トラック一台で修理に力を入れていますが舗装道についても三十八年度から巡回修理班を編成して修理に努力したいと考えています。側溝の整備はまだまだおくれていますが重要個所から改良に努めています。④昭和二十四年から職員で事務改善委員会をつくり提案制を取りれ窓口事務や文書事務を一本化し、機械を導入して改善に努めてきましたが新庁舎完成後、さらに力を入れて、みなさんのご期待に応えたいと思っています。⑤教育費の父兄負担は、たとえば学校建築の場合は国の補助以外は全額市が負担し、その他の面でもできるだけ父兄の負担を軽くするようにしています。教科書は文部省検定ものの中から教育委員会が採択して市内の小・中学校は同種類のものを使っています。⑥民警懇談会には、市に関係のことも多いですので、広報課員を出席させています。⑦市長に出す手紙はいつでも受け付けています。今後もみなさんの投書を歓迎いたします。

で、工法を検討の上、改善に努力します。

目に一度　わが子にくばれ　目とこころ

すすむ新庁舎建築事業

壁体に定礎をきざむ



庁舎の現場は、どの階、どの部室へ行っても、作業する人と音が交錯して、活気にあふれている。そして部室の間仕切りや、内装工事がどんどん進んで行く。2月6日、新庁舎玄関で定礎式が行なわれた。新庄市長をはじめ工事関係者らが出席、神事のあと、玄関入口左側壁体に市長が揮毫した「定礎、1963.1」と刻んだ大理石がはめこまれている中へ、庁舎建築図面、建築関係者名簿、当日の新聞、市政だよりなどを入れた銅板の箱を、市長が納め、新庁舎の基礎固めをお祝いした。（写真右は銅箱を納める新庄市長、左は1階会計課附近の内装工事）